

世界農業遺産推進フォーラム・世界農業遺産FAO現地調査

昨年12月、世界農業遺産に認定された「大崎耕土」。1月27日に認定を記念したフォーラムを開催しました。

フォーラムでは、世界農業遺産等専門家会議委員で東洋大学社会学部教授の青木辰司氏を講師に、「世界農業遺産の意義と可能性」について講演をいただきました。

青木氏は、農業の近代化と生態系の保護の両立や、遺産を保全し次世代へつなぐ難しさなどを指摘。およそ3万ヘクタールに及ぶ広大な大崎耕土を支える巧みな水管理基盤、厳しい自然条件を乗り越えるための屋敷林「居久根」などは世界的な価値があるとの評価を受けました。

また、2月1日には国連食糧農業機関(FAO)の事務局次長ダニエル・グスタフソン氏が、屋敷林「居久根」のある古川渋井の大夫良三さん方を視察。スギやハンノキなど100種



▲居久根の説明を受けるダニエル氏(中央)

類以上の草木が育ち、風や雪、洪水から家を守り、昆虫や鳥など生き物のすみかにもなっていることを紹介しました。

ダニエル氏は、「先人の知恵を生かした、他に例のない伝統的な仕組み。環境に配慮した持続可能な生産システムである」と話し、居久根が残る大崎耕土の豊かな環境が評価されました。

皆さんも身近にある自然や環境など、あらためて見つめ直してみませんか。

音楽が聞こえる都市づくり 大崎市民歌普及事業「おおさき歌めぐり」

2月18日、鹿島台瑞華翠交流施設(鎌田記念ホール)で「おおさき歌めぐり」を開催しました。

第一部では、総勢58人の各地域の婦人団体の皆さんが、地域に伝わる自慢の音頭を映像とともに紹介しました。

第二部では、この日のために結成された合唱団の皆さんが、古川シンフォニックウインズの演奏と共に、大崎市民生10周年を記念して制定された、市の花(ひまわり)、木(桜)、鳥(マ



▶鹿島台連合婦人会の皆さんが、鹿島台音頭を披露

ガン)をテーマに「大崎の四季」を合唱とオーケストラで紹介しました。

ステージの最後には、観客の皆さんも参加して、会場が一つとなつて大崎市民歌を合唱しました。「宝の都(くに)・大崎」を歌でめぐることで、地域間の交流を図ることができました。

市では、市の花・木・鳥や市民歌を普及する活動に補助金を交付しています。詳しくは、政策課(☎2129)にお問い合わせください。



▶心を込めてきれいな歌声を披露した「合唱団」の皆さん

Discover Osaki

地域発 お・ら・ほ・の・ま・ち

自分の住む地域を「おらほ」というと、親しみや愛着を感じませんか。おらほの地域づくり、おらほの隠れた名所、おらほの美味しい特産品、おらほの伝統のまつり、おらほのイベント……。そんな、愛してやまない「おらほの地域」を発信します。



田尻発

田尻クロスカントリー

2月4日、田尻クロスカントリー大会が、田尻総合体育館を発着点とするコースで開催され、813人の参加者が、2,500メートルから10,000メートルまでの10種目で健脚を競いました。



5,000メートルを超えるコースでは、地域の皆さんが給水所を設置。駆け抜ける選手たちに、沿道から大きな声援を送っていました。



▲号砲と同時に走り出す親子給水で選手をサポート

岩出山発

大空高く舞う色とりどりの凧

2月10日、岩出山地域づくり委員会と岩出山地区公民館の共催による、凧づくり・凧あげ教室が感覚ミュージアムで開催されました。

22回目となるこの教室には、親子連れなど15人が参加し、宮城県の伝統的な凧(するめ天旗)づくりに挑戦しました。子どもたちがアニメのキャラクターなどを描いた紙を持ち寄り、竹ひごや糸を使い上手に作っていました。



▲もう少しで完成

完成した凧を手に、近くのあつたか河川公園に移動した子どもたちは、弱い風に苦戦しながらも、一面真っ白な雪景色の中を精一杯走り、凧を高く揚げようと挑戦していました。



▲空高く揚がってね

凧あげ後は、地元懇話会の皆さんが用意したおしるこを食べて温まり、楽しい1日を過ごしました。

鳴子温泉発

雪遊びに子どもから大人まで楽しむ

2月18日、オニコウベスキー場で第12回大崎市民スノーフェスティバルinオニコウベが開催され、宝さがし大会やスノーフラッグなど、さまざまな催しが行われました。

約20センチメートルの雪の塊をスコップを使って投げ、その距離を競う「全日本スコップ雪投げ選手権」では、子ども部門・大人部門に総勢40人が参加。雪が降りしきる中、スコップに乗せた雪を力いっぱい投げると、その反動でその場に尻もちをつく子どもや、スコップごと投げてしまう参加者の様子に、会場は笑いとお声援で大盛り上がりでした。

今年は例年より積雪量が多く、市内2つのスキー場(上野々スキー場・オニコウベスキー場)では、前年を上回る来場者でにぎわっています。スキーやスノーボード、雪遊びを楽しみに出かけてみませんか。



▲全身で思い切り雪の塊を投げます



▲雪上の旗をめがけてダッシュ

2018
2月の主な出来事

18日	10日	5日	4日	1日
●「大崎市民歌」普及事業「おおさき歌めぐり」	●きょうDo! (協働)のまちづくり文化祭	●尾花沢市豪雪除雪隊災害援助協力派遣(山形県尾花沢市)	●第47回田尻クロスカントリー大会	●FAO事務局次長現地視察



▲屋根に届きそうな雪の中で支援(尾花沢市災害援助協力派遣)



▲いろいろな意見で考えを深める(きょうDo!のまちづくり文化祭)